

大阪市立大学医学部附属病院に入院された患者様・御家族の皆様へ
「多施設における自動算出早期警告スコアの評価
RRS システムでの活用」について

(1) 研究の目的

病院に入院している患者様は、一般人口より状態の悪化・死亡の可能性が高く、より早期・事前に前兆をとらえて対応をする事が重要です。それには救急・集中治療部門の医師・看護師が、緊急に一般病棟に出向き早期対応を行う院内救急対応システム (Rapid Response System: RRS) が有効とされています。この研究は、一般病棟において 24 時間体制で記録されている患者様のバイタルサインから算出した重症度スコアにより、患者様の状態悪化の前兆を検出し自動的に RRS を起動するシステムの開発を目的としています。

研究実施期間: 承認後～2026 年 12 月 31 日

(2) 研究対象について

対象となる患者様は、2019 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの間に、当院一般病棟に入院された 16 歳以上の患者様になります。

年齢、性別、身長、体重やバイタルサインの値(血圧・脈拍・体温・呼吸数・意識状態・酸素投与の有無)、入退院・予後情報、DNAR オーダーの有無、傷病名、併存症が記録されます。本調査は純粋な観察研究であり、患者様にいかなる利益・不利益も生じません。

(3) プライバシーの保護について

この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。

その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※ この調査の対象となられる方で、ご自分あるいは御家族の情報を登録したくない場合は 2026 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者様の情報は削除し、研究データとして使用することはありません。なお、お申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

連絡先

大阪市立大学医学部附属病院

住 所 : 〒 545-8586 大阪市阿倍野区旭町 1-5-7

電 話 : 06-6645-3881

担当医師 : 岡村 浩史